

快挙オオオオオオ！！ OIST スコア 1 位、3 位！！

12月8日(土)、OIST(沖縄科学技術大学大学院)において開催された「第7回 SCORE!スコアサイエンス in オキナワ 起業のための研究能力」において、見事本校総合学科海洋生物系列の「沖縄県産フルーツフィッシュの開発」が1位、シーメンズクラブの「Okistar プロジェクト」が3位に入るという快挙を成し遂げました。

OIST ホームページには「SCORE! は、県内高校生への体験型理科教育を発展させることと起業家精神に関心を持ってもらうことを意図するとともに英語立県沖縄への取組みを支援するものです」とあり、内容として「科学プロジェクトを発表—新しいテーマや既に取組んだテーマでも OK! その科学プロジェクトをビジネスや日常生活にどう活用するか?生活をよりシンプルで、より向上できるか?」を問うものだとあります。

「Okistar プロジェクト」は、シーメンズクラブが2年前から取り組んでいる牡蠣の養殖方法の研究で、県内の水質、気象、海象といった自然環境の中で最も適している牡蠣の種類を見極め、さらに肥育、完全養殖を目指すものです。3年海洋技術科森原海(もりはらかい)君、宮城英光(みやぎひでみつ)君がすべて英語による発表をしました。

「沖縄県産フルーツフィッシュの開発」は、養殖魚に県産シークワサーの残渣を与え、その魚臭さを抑えて、魚が苦手な人に対して美味しい刺身を提供することを目的



としています。新垣佑美茄(あらかきゆみか)さん(3-15)、神谷力(かみやちから)君(3-15)、佐々木絵凜南ドリエル(ささきえりなどうえる)さん(3-15)の三人が発表し、米国派遣の栄をも獲得しました。

受賞の報告があったのは

沖水祭の初日夕方でした。

2日目の集会には全校生徒の前で5人の紹介をするとともに、この2つの研究は「国民(人類)に持続可能な



水産資源の発展と提供までも目的にしていること」さらに「水産高校でなければならない学習・研究の成果であったこと。沖水で学んでいることに誇りを持つこと。そして、この先輩方の実績を踏み越えて1,2年生は是非後を継いで欲しいこと」を話しました。

発表校12校のうち並み居る強豪を抑えたこの快挙に「学校の誇りだ!」という声で校内が湧いています。「Okistar プロジェクト」を指導したのは海洋技術科の四方俊晴先生、「沖縄県産フルーツフィッシュの開発」は海洋生物系列の中村信行先生です。両人とも今受賞に傲ることなく次のネタを密かに、でも強くたくましく画策しているようです。